

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 3月 27日

事業所名 放課後等デイサービス サニーハウス

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○				学習と活動スペースを明確に分けるように努める
	2 職員の配置数は適切である	○			活動内容に適切な人員配置を行っている	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている			○		段差があるところにはクッションなどを置き安全性を確保できるように努める
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○		職員間でミーティングを行い改善点を話し合っている	職員間での情報共有に努める
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている			○		今後、定期的にアンケートを行い、改善を図る
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				次年度公表は12月予定
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		月に一回、第三者による評価をいただき業務改善をしている	改善内容をスタッフ間で共有し改善を図る
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○		随時、ミーティングを行っている	今後、お客様の情報共有など定期的にミーティングを行うよう努める 様々な研修に参加していただけるように努める
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			送迎時に家族との引き継ぎで、事業所での様子や変化など出来事共有をしている	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			アセスメントを行い職員間で情報共有をしている	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている		○			職員間で意見交換をし立案を図る
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			固定化しないよう様々な活動内容を取り入れている	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			様々な体験や経験ができる活動を予定し提供している	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		○			利用時間や状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせプログラム作り心かける
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○			口頭での打ち合わせだけでなく日報などを使い職員間で情報共有できるよう努める
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			その日にあった出来事などを職員間で話し合っている	職員全員に周知できるよう努める
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			支援記録に詳細に記入をしている	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的に行っている		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている		○			ガイドラインの再確認と把握を職員間で行い、取り入れていくように努める	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者や管理者が参加している		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			学校迎えの際、担任の先生からの聞き取りや事業所での変化や状況をお伝えし情報を共有している		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○			養護教諭が1名常駐している	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○				情報の受け取り方を今後検討していく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している					現在該当児童はいない	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○				専門機関と連携を深めて、助言などを受ける体制の構築に努める
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○				定期的に児童館へ行っている	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○				可能な限りできるだけ参加をしている	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				日々の送迎時で保護者の方に変化や状況をお伝えしている	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○			取り組みがほとんど行えていないため、保護者会など企画をし開催できるように努める
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				入所時に契約書や重要事項説明に基づき説明を行っている	今後も丁寧でわかりやすい説明を心がけていく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				ご相談に応じ、面談を行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○			保護者同士の連携ができるよう企画し開催できるように努める
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				苦情に際しては、管理者側で会議を行い真摯に対応しております	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している			○			会報が不定期なため、今後は定期的に発行できるように努める
	35	個人情報に十分注意している	○					個人情報に関しては、細心の注意を払い、鍵のかかる書庫に保管をしている
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				保護者の方と情報伝達を円滑に行えるようSNSを取り入れている	視覚的な活用をもっと取り入れていくように努める
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている			○			地域住民の方々と連携を図れるようイベントなどを企画し交流できるように努める

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		マニュアルの周知にはまだ不十分なところがあるので、職員間で研修等を行い、保護者の方へ周知できるように努める
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		避難訓練だけでなく、職員間での防災に関する研修を行っていけるように努める
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		虐待防止は職員間で適宜に行っているが、研修等がまだ不十分なので、今後は研修等を取り入れていく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		利用者様の状況に応じて、保護者様と相談の上、適切に対応していきます
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			保護者様からのアセスメント情報に基づき、適切に対応しています
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット報告書を作成している